

# 医療法人・社会福祉法人 雄仁会 おもな施設

			
加藤病院 (精神科・心療内科・内科) TEL (0974) 63-2338 (代表)	介護老人保健施設 岡の苑 TEL (0974) 63-3837	住宅型有料老人ホーム 木もれ陽 TEL (0974) 63-2341	グループホーム 和の郷 TEL (0974) 63-0225
			
重度認知症患者デイ・ケア 「岡の苑オレンジハウス」 TEL (0974) 62-4322 「木もれ陽オレンジハウス」 TEL (0974) 62-2223	精神科デイ・ナイト・ケア 「ステップハウス」 TEL (0974) 63-0741	社会福祉法人 雄仁会 特別養護老人ホーム 「こころの郷」 TEL (0974) 63-3323	社会福祉法人雄仁会 重度認知症患者デイ・ケア 「こころの郷オレンジハウス」 TEL (0974) 63-3336
大分県認知症疾患医療センター TEL (0974) 63-2263		心の相談支援事業所 TEL (0974) 63-3346	

## 医療法人雄仁会・社会福祉法人雄仁会

## 求人のご案内

雄仁会の各施設では、資格をお持ちの方、経験のある方はもちろん、看護や介護の経験や資格のない方の勤務も歓迎します。パート勤務も可能です。お近くのハローワーク又は病院事務部にご遠慮なくご相談ください。応募される前に病院見学も行っています。

### ○免許・資格が必要な職種

- (1) 正看護師、(2) 准看護師、(3) 介護福祉士、(4) 介護支援専門員(ケアマネージャー)、(5) 作業療法士、(6) 精神保健福祉士、(7) 医療事務

### ○免許・資格や経験のない方も応募可能な職種

- (8) ケアワーカー(介護・看護助手)【フルタイム】、(9) ケアワーカー(介護・看護助手)【パートタイム】

医療法人雄仁会ホームページ「採用情報」のページ  
<https://yuujinkai.com/recruit/>



医療法人 雄仁会 加藤病院  
 〒878-0013  
 大分県竹田市竹田1855番地  
 ☎0974-63-2338  
 ホームページ <https://yuujinkai.com/>



社会福祉法人 雄仁会  
 〒878-0026  
 大分県竹田市大字飛田川11618-23  
 ☎0974-63-3323

医療法人 雄仁会  
 社会福祉法人 雄仁会

令和7年2月  
23号

# 広報誌 ゆうじんかい

基本理念 安全 ● 信頼 ● 満足

## TOPICS

## 巻頭言

令和7年になりました。昨年は能登半島地震で大変な年明けでした。今年も日向灘震源の地震があり竹田でも震度4の大きな揺れで、日頃より災害への備えが大切だと改めて思いました。雄仁会ではBCP(災害時業務継続計画)を作成して、地震、洪水発生時には私が先頭に立って対応する体制を整えています。また定期的に防火訓練も実施して万が一に備えています。

世界ではロシアのウクライナ侵攻、イスラエルのガザ地区攻撃、アメリカではトランプ大統領就任など大きな動きがあります。国内はインフレが進み、今後石破政権のかじ取りによる生活へ与える影響が気になります。新型コロナやインフルエンザ等の感染にも十分お気を付けください。

今年は以前より「2025年問題」と言われてきた、団塊の世代が75歳の後期高齢者になる大きな節目です。全国の75歳以上比率は18%となります。竹田市の人口は約2万人で、75歳以上は30%です。医療介護の負担は増加して財政的にも厳しさを増すでしょう。今後は団塊の世代ジュニアが65歳を迎え、労働人口が減少する「2040年問題」が課題になってきます。

雄仁会は変化を見据えながら、どうすれば地域に貢献できるかを考えてきました。高齢になっても、認知症になっても安心して住み続けることができるように、病院を中心に相談、受診、通院、通所、入院、入所でニーズに応える病院施設づくりをしています。医療法人雄仁会の「加藤病院」は豊肥地域で唯一の精神科病院ですが認知症、精神疾患に限らず、内科も充実して合併症にも対応しています。そして老人保健施設「岡の苑」、認知症グループホーム「和の郷」、通所の認知症デイケア「オレンジハウス」、精神科デイケア「ステップハウス」、有料老人ホーム「木もれ陽」を、社会福祉法人雄仁会は特別養護老人ホーム「こころの郷」で入所と認知症デイケア「オレンジハウス」にて地域の皆様のニーズにお応えしています。

病気のこと、生活でお困りのこと等お気軽にご相談ください。雄仁会スタッフは地域の皆さんとともに歩んでいます。



雄仁会 理事長  
加藤 一郎

## 雄仁会で一緒に働いてみませんか？ 病院見学会・施設見学会

## 医療法人雄仁会「公式ホームページ」

採用情報【病院見学エントリー】  
申込みフォーム

<https://yuujinkai.com/recruit/#consul>



医療法人雄仁会と社会福祉法人雄仁会では、「病院見学」「施設見学」を随時受付中です。ご要望に応じていつでも対応させていただきますので、電話やメールでお気軽にご相談ください。スタッフ一同心よりお待ちしております。

# 雄仁会の「教育・研修」

雄仁会グループでは、加藤病院をはじめ、法人内の医療・介護・福祉の関係施設や機関全体で、すべての職種にわたって、必要な知識・技術を身に付け、スタッフのスキルアップとよりよいサービスをご提供していくため、様々な教育研修事業に取り組んでいます。

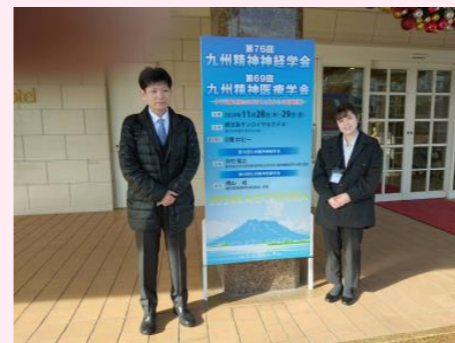
教育マニュアル	職種ごとに技術マニュアルを作成し、指導研修を実施しています。看護職では資格・勤務経験別の新人教育プログラムにより、教育・評価を行っています。
院内研修・合同研修	月に1～2回程度のペースで院内研修が開催されています。内容は医療安全・感染対応等はもちろん法改正や精神科医療に関するテーマで開催しています。
院内研修開催例	医療安全、感染対策（コロナ・手洗いチェッカーほか）、褥瘡対策、身体拘束及び行動制限最小化、虐待防止、アンガーマネジメント、摂食・嚥下、心肺蘇生法（BLS研修ほか）、認知症、睡眠障害、精神保健福祉法改正など
院外研修	情報収集、スキルアップのため等、外部研修の参加を積極的に実施しています。日本精神科看護技術協会や大分県看護協会、日本精神科病院協会、大分県病院協会、関係行政機関、製薬会社などが開催する研修会や学会に参加しています。
院外研修学会参加例	豊肥地域看護研究会、大分県病院学会、九州精神医療学会、作業療法学会など各種学会に参加し、発表を行っています。
雄仁会合同学会	年度末に、雄仁会全体の学術的イベントとして研究発表を行う合同学会を開催しています。発表することで個人の自信となり、人材育成と組織全体の業務に対するモチベーションアップにつながっています。毎回15題程度の研究発表があります。
e-ラーニング	職員の知識・技術力向上、最新の情報を習得するためにオンラインの研修教材であるe-ラーニング「学研メディカルサポート」を活用しています。幅広いテーマで教材が揃っており、スタッフ個々のスタイルにあわせて研修ができます。
新入職者オリエンテーション	新入職者に法人の組織、理念、院内・施設案内など、法人業務や施設の概要や基本的な知識を習得することを目的として実施しています。
新人看護師教育プログラム	多様化する精神科看護に必要な知識・技術を体得できるよう、現場教育システムを充実させ、卒後1年間をフォローした新人教育システム、プリセプターシップなどの教育プログラムを展開しています。
プリセプターシップ制度	プリセプターシップとは、新人看護師に対して、実地指導者として先輩看護師がマンツーマンで指導・支援を行う教育システムです。新人看護師の職場への適応や精神面の支援が図られています。
新任者研修（集合教育）	4月初めにオリエンテーションに続いて、新任スタッフを対象に実施しています。精神科の疾患、薬物、看護等についての基本的な知識を得ることを目的としています。
振り返り研修（集合教育）	1年目の看護スタッフを対象に振り返り研修を実施しています。精神科医療場面で必要な処置などを集中的に学びます。
現場教育	プリセプターシップをはじめ、看護技術・業務チェックリストの活用、担当者による指導など、新任者が安心して学べる環境づくりを目指して実施しています。
法人内勉強会	外部研修で得た知識・技術などの伝達講習や、精神疾患や身体疾患についての勉強会を行っています。医師による講習会（内科・精神科）、外部講師（マナー、心電図）、身体保清
実習受け入れ	医師、看護職、リハビリテーション職、精神保健福祉士など、令和6年度は年間5校・6学科・50名の各職種の資格取得を目指す学生を受け入れています。学生の成長・育成を助けるとともに、現場スタッフの振り返りにもいい効果をもたらしています。

## 【雄仁会合同学会】

法人内でスタッフのスキルアップや意識高揚を目的に「雄仁会合同学会」を開催しています。コロナで開催が中断していましたが、令和6年3月16日（土）第11回合同学会が開催され、11グループから研究発表が行われました。



第76回九州精神神経学会・第69回九州精神医療学会」が令和6年11月28日（木）～11月29日（金）に、鹿児島県で開催され、「少子高齢化社会におけるこれからの精神医療」をテーマに研究発表や意見交換が行われました。加藤病院の看護師2名も登壇し研究成果を発表しました。



▲第76回九州精神神経学会  
第69回九州精神医療学会



▲5病棟・浅尾航看護師の発表



▲2病棟・宇都宮果歩看護師の発表

浅尾航看護師は、「認知症病棟における負担度トリアージの取り組み」と題して発表。認知症患者数の増加に伴い、BPSDは深刻な問題となっている。介護者への負担を軽減し、看護の質を向上させるため、負担度トリアージの重要性について研究発表しました。

宇都宮果歩看護師は、「不眠症状を呈するアルツハイマー型認知症患者におけるアロマセラピーが有効性について」と題して発表。認知症患者は不眠症を高頻度で併発し、それに伴い夜間不穏等の精神症状も伴い易い。また、介護側への介護負担増加も問題視されている。臨床的な対応として睡眠薬や向精神薬等の薬物療法が施行されやすいが、転倒、ふらつき、骨折等のリスクや安全性の観点から積極的な推奨はされていない。近年、高齢者や認知症患者に対して、アロマセラピー療法の効果が注目されている。そこで、当院入院中の不眠を呈するアルツハイマー型認知症(AD)患者に対して、アロマセラピー療法を用いて、不眠症症状および認知症BPSD、介護負担度の変化について研究発表しました。



▲公益社団法人日本精神科病院協会学術教育研修会

## 公益社団法人日本精神科病院協会学術教育研修会に参加して

社会復帰支援部 作業療法士・後藤 仁

令和6年11月21日から22日の2日間、公益社団法人日本精神科病院協会学術教育研修会に参加させていただきました。今回は、「地域とつながる実践力」～多様性と専門性を期待する精神科作業療法～を主題に掲げ、実践的な心理療法や地域での実践事例などの演題が多く、大変勉強になりました。様々な講演の中で、県立広島大学保健福祉学科作業療法コース准教授の織田靖史先生より、作業療法士は疾患の治療のみでなく、その人の希望に合わせたオーダーメイドの援助をする事の大切さを話されており感銘を受けました。これからも多職種と協力しながら患者様本位のリハビリテーションを実践できるよう努めていこうと思います。



▲精神保健や精神障害者福祉に関する法律、身体拘束の早期解除や危機予防のための介入技術などを学ぶ行動制限最小化研修

▼怒りの感情をコントロールする「アンガーマネジメント」研修



▲心停止や呼吸停止などの緊急事態に備えた対応を学ぶBLS（Basic Life Support：一次救命処置）研修